

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	駅周辺整備課長 宇高 毅		
まち-03	重点事業	古都中心市街地整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	駅周辺整備課(再開発課)
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。
効果	鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けて、市民及び利用者等のアンケート調査並びにアドバイザー会議を実施するとともに、パブリックコメントを経て基本設計を実施した。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けて、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数		
人口等のデータ	人 口	176,869人	176,466人	176,466人	人 口	176,308人	176,308人	・各年3月31日(住民基本台帳)	
	世 帯 数	80,928世帯	81,150世帯	81,150世帯	世 帯 数	81,763世帯	81,763世帯		
	事業の対象者数				事業の対象者数				
	運営資源状況	決算値(千円)	3,154	3,780	3,780	当初予算(千円)	9,031		9,031
		国県支出金				国県支出金			
地方債					地方債				
その他					その他				
一般財源		3,154	3,780	3,780	一般財源	9,031	9,031		
事業経費運営	人員配置数	1.3	1.7	1.7	人員配置数	2.0	2.0		
	人件費(千円)	9,972	12,956	12,956	人件費(千円)	15,468	15,468		
	総事業費(千円)	13,126	16,736	16,736	総事業費(千円)	24,499	24,499		
	市民1人当りの経費(円)	74	95	95	市民1人当りの経費(円)	139	139		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備は、一部権利者の合意が得られておらず、当面、事業の実施は困難であるが、平成32年度開催の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備を行っていくことになったことから、今後、事業の進捗に合わせて一定の費用が必要であるため。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」に基づき、鎌倉駅西口駅前交通広場を中心とした整備と建物共同化事業の検討を進めてきたが、一部権利者からの反対で事業が止まっている。反対権利者への調整は継続しているが、合意への見通しは立っておらず、現在に至っている。 そのため、平成32年度の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、観光客と市民とが共存できる快適な空間を整えるため、西口駅前広場の再整備を行うこととしているため、予算規模の方向性はAとした。 全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、権利者の状況及び周辺環境の変化を勘案し、事業手法を研究していく必要があり、有効性は2とした。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	全体計画となる西口周辺整備としては、継続的に権利者調整を進めているものの、一部権利者とは合意への見通しは立っていない。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備にあたっては、整備に必要な全ての用地取得を検討しているが、建物所有者からは一部取得の同意しか得られていない状況にあるため、全部取得を前提として交渉を継続していく必要がある。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	全体計画となる西口周辺整備については、継続的に関係権利者へ情報提供等を行った。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた権利者対応を行うとともに、市民及び利用者等のアンケート調査並びにアドバイザー会議を実施し、パブリックコメントを経て基本設計を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	全体計画となる西口周辺整備については、継続的に権利者調整を進めているが、一部権利者とは合意への見通しは立っていない。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備については、用地取得を予定しているが、借地権者等と取得可能箇所の協議が必要である。また、平成30年度は実施設計及び工事費積算を実施し、平成31年度の整備工事の実施に繋げる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	関係権利者との合意形成						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	権利者36人 賛成者13人	
事業実施に向けて、関係権利者との合意形成が必要不可欠であるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	実績値	36.1	36.1	36.1	36.1				
	達成率	36.1%	36.1%	36.1%	36.1%				
指標の内容	鎌倉駅西口駅前広場の暫定整備						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H29:基本設計の確定 H30:実施設計の実施 H31:整備工事の完了	
東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、西口駅前広場の再整備を行うこととしたため。	目標値	-	-	-	30.0	60.0	100.0		
	実績値	-	-	-	30.0				
	達成率	-	-	-	100.0%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・西口駅前広場の暫定整備の実現について指標を追加した。								